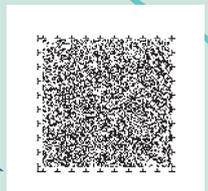


# 生きものの育みと恵みを 未来につなぐ豊かな博多湾

かんきょうほぜん がいよう  
博多湾環境保全計画（第三次）の概要



せんよう  
専用のアプリで音声コード  
ゆにほいす  
(Uni-Voice)を読み込む  
と声で聞くこともできます



# はかたわん 博多湾ってどんなところ？

博多湾は、東西に約20キロメートル、南北に約10キロメートルの、福岡市の北側にある湾（陸地に海が大きく入り込んだ場所）です。西側の西浦から玄界島、玄界島から志賀島の2か所で玄界灘とつながっていますが、湾の入り口がせまく、海の水が入れ替わりにくい特徴があります。

博多湾の西側は深く、東側は浅くなっています。北側に広がる玄界灘よりも波がおだやかで、生きものにとってすみやすい場所です。



「生きている化石」と呼ばれ、九州北部と瀬戸内海にすんでいる。夏の大潮の時期に今津干潟で産卵をする。

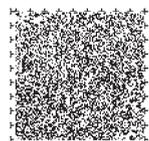
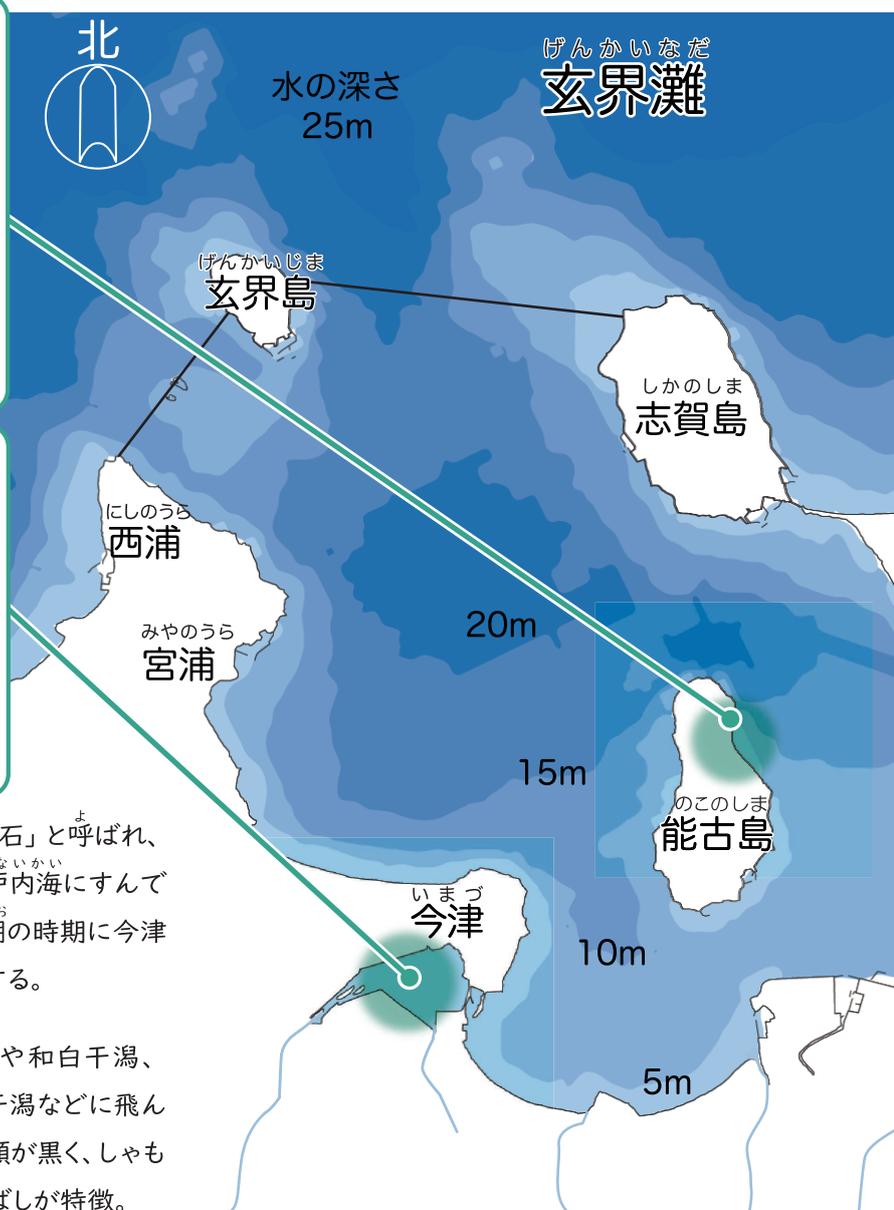
冬に今津干潟や和白干潟、多々良川河口干潟などに飛んでくる渡り鳥。顔が黒く、しゃもじのようなくちばしが特徴。

かいせつ  
\*【解説】

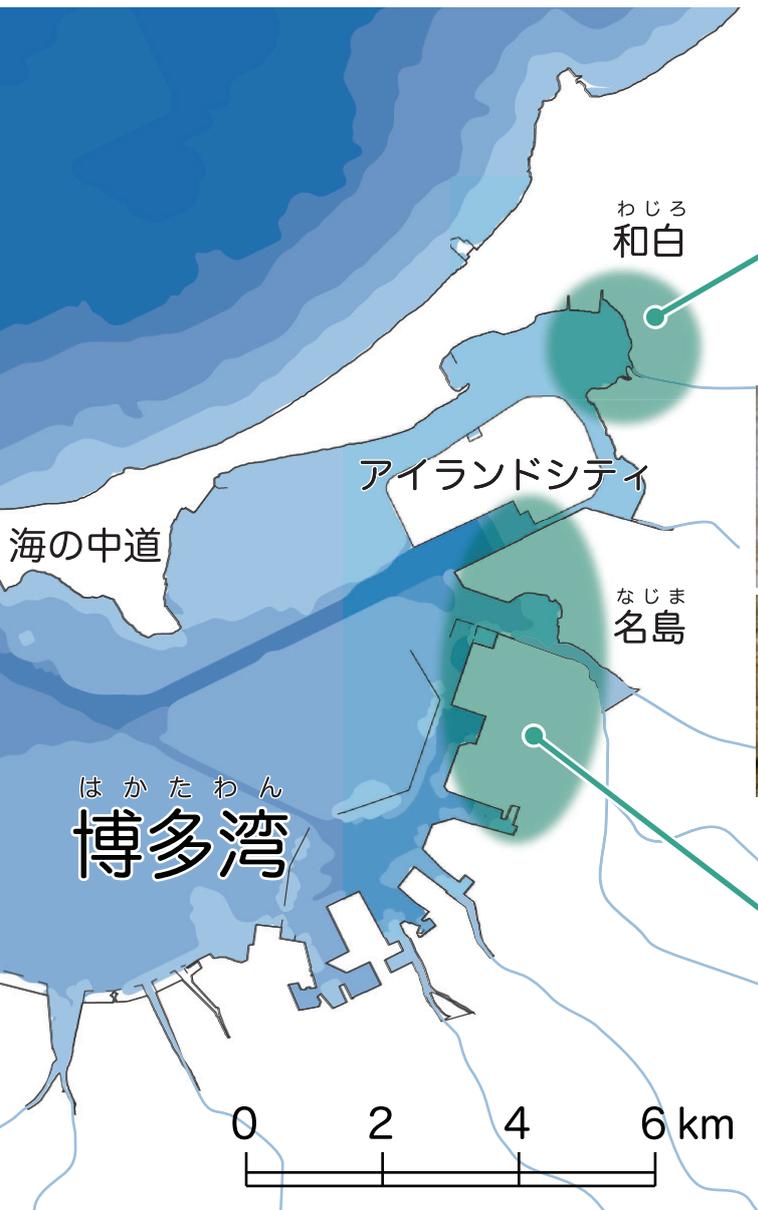
干潟：潮が引いたときに海の中から地面が出る場所。生きものがたくさんすんでいて、それらをエサとする渡り鳥も飛んでくる。

藻場：ワカメやコンブ、アマモなどの海そうがたくさん生えている場所。「海のゆりかご」とも呼ばれ、生きものの産卵や生育の場所となっている。

岩礁：海にある岩が集まった場所。魚や貝がすんでいる。



博多湾には、干潟\*や藻場\*、岩礁\*、砂浜などのさまざまな環境があり、それぞれの環境に適した生きものがたくさんすんでいます。また、博多湾は渡り鳥が休んだり、冬を過ごしたりする場所にもなっていて、カブトガニやクロツラヘラサギ、ミヤコドリ、ハクセンシオマネキなどのめずらしい生きものを見ることができます。博多湾では、海水浴や潮干狩り、マリンスポーツを楽しんだり、漁師さんが魚をとったり、貨物船で生活に必要なものを運んだりしています。



和白干潟のシンボルとして親しまれている渡り鳥。赤いくちばしと足が特徴で、二枚貝を上手に開いて食べる。

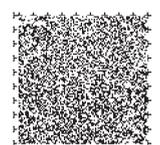


和白干潟や今津干潟などにすむカニ。オスは白く大きなハサミがあり、このハサミを振って求愛ダンスを踊る。



※能古島、今津干潟、和白干潟、物流エリアの写真は、博多湾フォトコンテストの入賞作品

博多湾は、さまざまな生きものや、わたしたちの生活をささえる大切な海です。



わたしたちが生活をするなかで、家庭から出る汚れた水（生活排水）などは、下水処理場で汚れを取り除いてから海や川に放流しています。

海の水が入れ替わりにくい博多湾は、福岡市周辺の人口が増えたことで、生活排水の量が増え、COD\*やリン\*などが多くなり、水質が悪くなった時期がありました。

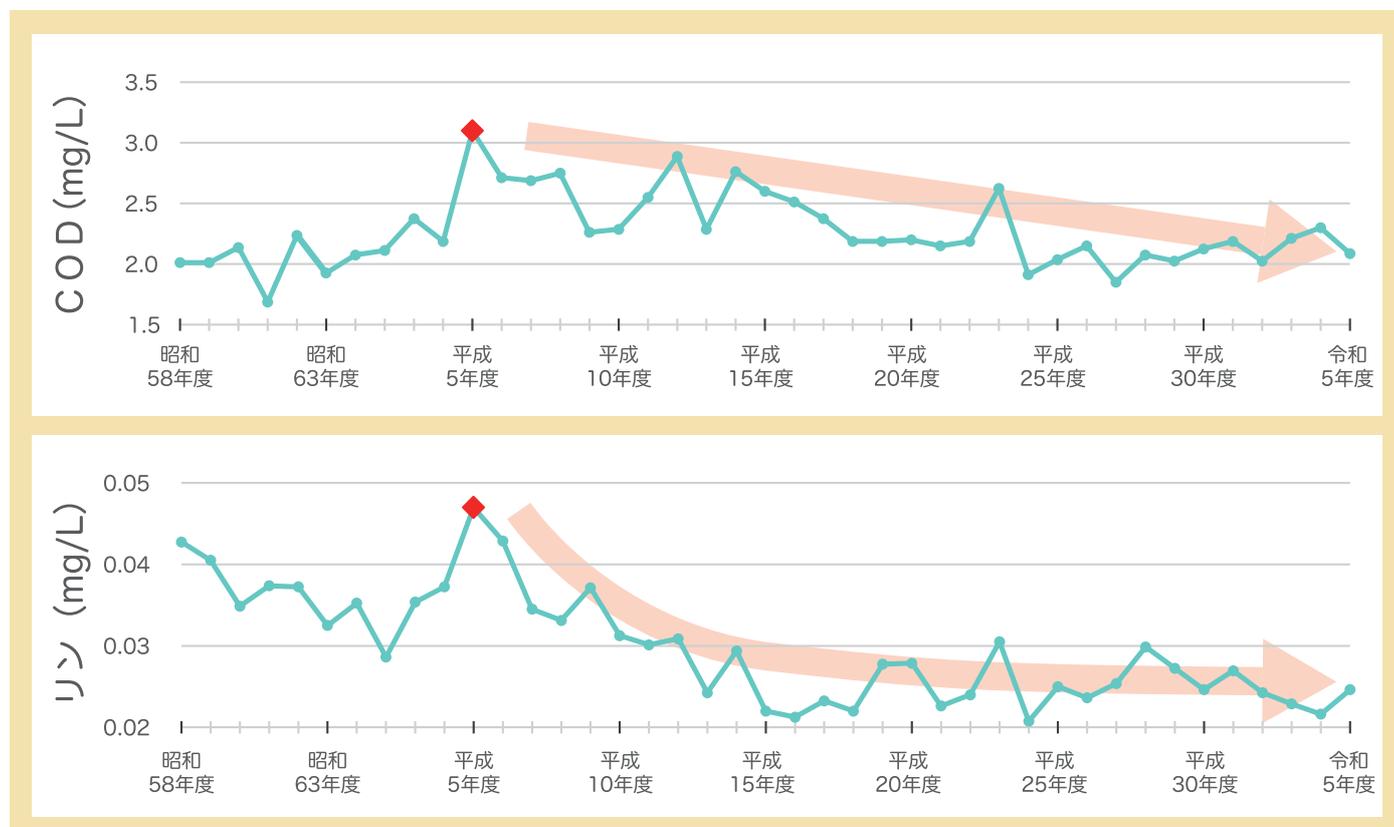
そこで、福岡市では、博多湾に流れ込む河川上流の周辺の市や町と協力して下水道の整備をすすめ、CODやリンなどを取り除くことで博多湾の水質の改善に取り組んできました。

その結果、平成5年度ごろに一番多くなったCODやリンは少なくなりはじめ、海や川の水はきれいになり、現在もきれいな水質を保っています。

\*【解説】

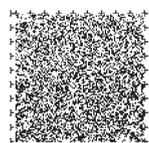
COD：海の水がどれくらい汚れているかを表すもの。多いと水が汚れていることを表す。

リン：生きものが育つために欠かせない重要な栄養分。一方で、生活排水などにも含まれ、多すぎると海の環境を悪くする原因になる。



博多湾のCOD、リンの年度ごとの平均\*のうつりかわり

\*博多湾の8地点におけるCOD（表層・中層・底層）と全リン（表層）の平均値



# 博多湾の問題

全国的に、海の水はきれいになっている一方で、生きものは減<sup>へ</sup>ってきていると言われている、博多湾も同じ問題をかかえています。

それは、食物連鎖<sup>しょくもつれんさ</sup>\*の始まりである植物プランクトンが増えるために必要な栄養分が少なくなっていることが原因のひとつとされています。

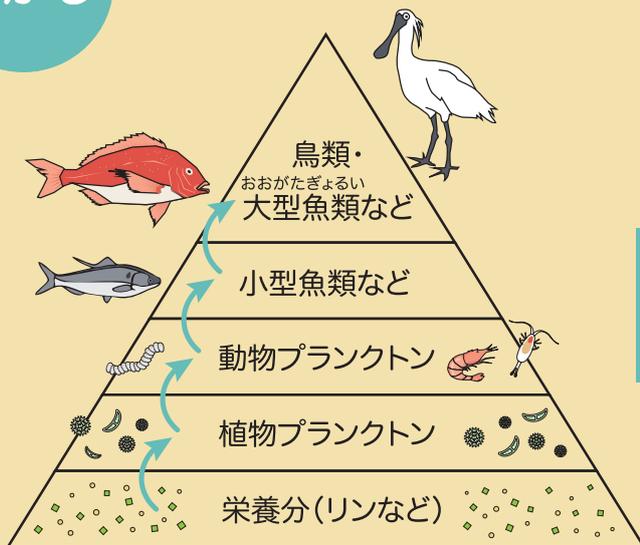
生きものの育<sup>め</sup>みと恵<sup>ゆた</sup>みを未来につなぐ豊かな博多湾をめざしていくために、どうすれば博多湾の栄養分<sup>てき</sup>が適した量になるかを考えていく必要があります。

## \*【解説】

食物連鎖：生きものどうしの食べる・食べられるという関係のこと。海の中ではリンなどの栄養分をもとに植物プランクトンが増え、植物プランクトンを動物プランクトンが食べ、動物プランクトンを小さい魚などが食べ、小さい魚を大きい魚や鳥などが食べる。

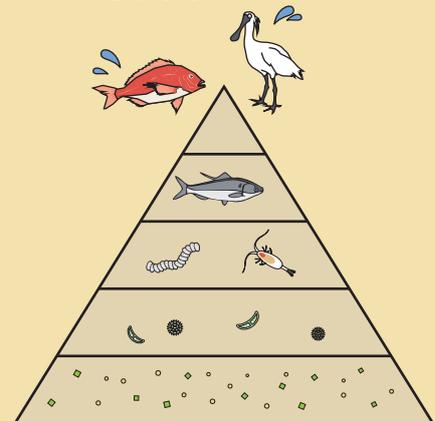
## むかし

適した量の栄養分があるとき



## いま

栄養分(リンなど)が少なくなると食物連鎖のバランスがくずれ、ピラミッドが小さくなります

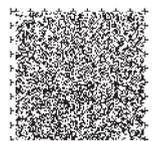


また、博多湾では海のごみの問題もあります。海のごみには、海岸や海に捨<sup>す</sup>てられたごみ、海外から流れてきたごみもありますが、博多湾のごみの多くは街の中で出たごみが川に流れ、川から海に流れ着いたごみです。



博多湾の海底から回収<sup>かいしゅう</sup>したごみ

このような博多湾の問題を解決<sup>かいけつ</sup>するために、  
福岡市は博多湾環境保全計画(第三次)を作りました。

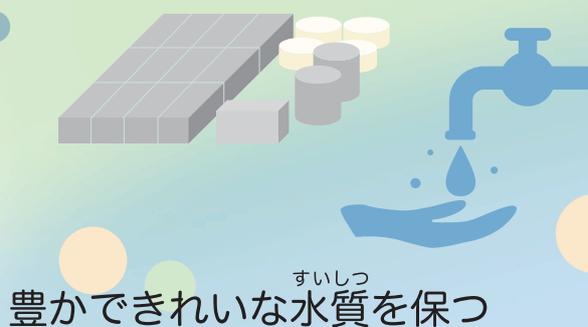


## 「生きものの育みと恵み<sup>めぐ</sup>を

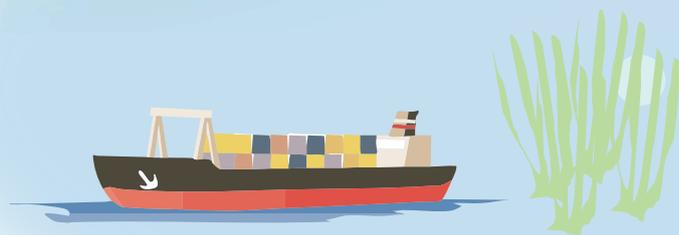
- みんなが博多湾の環境を守るための役割<sup>やくわり</sup>を理解し行動<sup>りかい</sup>することで、
- みんなが身近に自然を感じる事ができる場所として博多湾を利用し、
- 豊かな博多湾が次の世代の人や生きものにつながっている。



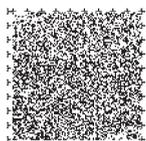
豊かな博多湾を  
未来につなぐ



ふれあう  
くわしくは  
9ページへ



ささえる  
くわしくは  
7ページへ



# 未来につなぐ<sup>ゆた</sup>豊かな博多湾」

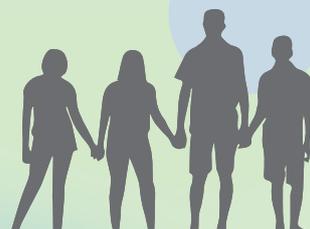
生きものが生まれ育ち、恵み<sup>あた</sup>を与えつづけてくれる豊かな博多湾になっている。  
心も体も健やかに自分らしく生きられること（ウェルビーイング）に役立っている。

つなぐ

くわしくは  
10ページへ



森里川海のつながり  
を大切にする



みんなで協力して  
博多湾の環境を守る

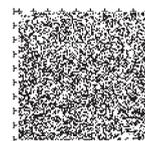
はぐくむ

くわしくは  
8ページへ



生きものが  
すみやすい場所を守る

魚やワカメ・ノリなどの  
海の恵みがもたらされている





# ささえる

～さまざまな生きものやわたしたちの生活をささえる博多湾～

主な SDGs のゴール（くわしくは最後のページへ）



はかたわん

## 主な取組み ★印は新しい取組み

### 博多湾を育む森づくり

森は雨水をたくわえたり、川へ流れる水をきれいにしたり、海の生きものに必要な栄養分を川を通してとどけるはたらきがあります。

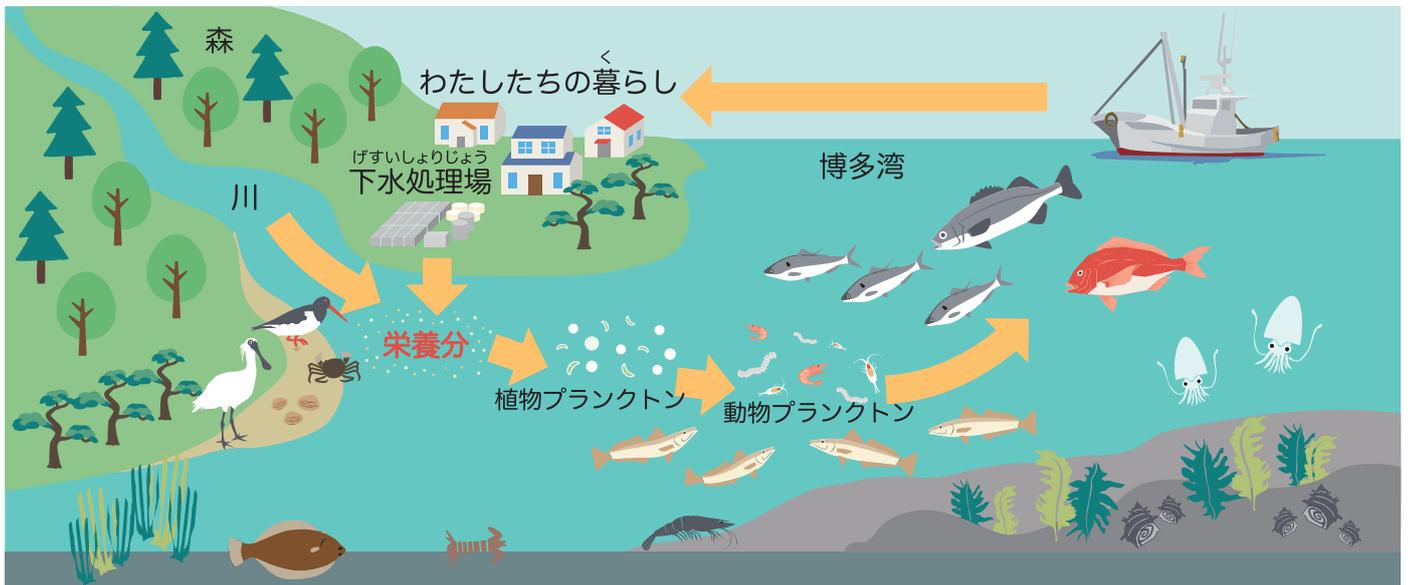
漁業や林業をしている人や地域の<sup>ちいき</sup>の人たちなどと協力して博多湾を育む森づくりを行っています。



木を植える活動

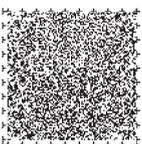
### ★博多湾に適した<sup>てき</sup>栄養分の<sup>けんとう</sup>検討

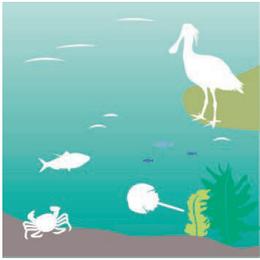
博多湾の生きものが生まれ育つために必要な栄養分が少なくなっている問題を<sup>かい</sup>解決<sup>けつ</sup>するため、栄養分を適した量まで<sup>ふ</sup>増やすための方法を考えていきます。



### ★<sup>しゅんせつどしや</sup>浚渫土砂を活かした博多湾の<sup>かんきょう</sup>環境づくり

博多湾には、わたしたちの生活をささえる貨物船などの大きな船の通り道（<sup>こうろ</sup>航路）があります。この航路を定期的に<sup>ほ</sup>掘ること（浚渫）で大きな船が安全に通ることができる深さを<sup>たも</sup>保っています。掘った土や砂（<sup>すな</sup>浚渫土砂）を活かして、生きものがすみやすい環境をつくっていきます。





# はぐくむ

～さまざまな生きものを育み、恵みをもたらす博多湾～

主な SDGs のゴール（くわしくは最後のページへ）



## 主な取組み

### もば 藻場を守り、増やす活動

海そうは海をきれいにするはたらきがあり、生きものが生まれ育つ場所にもなっています。

今ある藻場を守りながら新しく藻場をつくり、生きものが育つ環境を増やしていきます。



博多湾の藻場

### ひがた 干潟を守る活動

干潟には生きものがたくさんすんでいて、それらをエサとする渡り鳥も飛んでくるととても大切な場所です。また、わたしたちが自然とふれあえる場所にもなっています。

干潟を守るために、自然を守る団体や地域の人たちなどと協力して干潟の清掃などを行っています。



いまづひがた 今津干潟の清掃活動



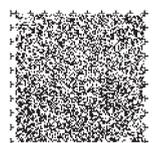
わじろひがた 和白干潟のアオサ\*回収活動

\*【解説】

アオサ：海そうの一種。適度にあると干潟の生きものや鳥たちのエサとなるが、大量に発生して干潟に打ち上がると腐って悪臭の原因になる。

### よりなどの養殖場の栄養分を増やす試み

博多湾では冬にノリの養殖が行われています。冬は雨が少なく川から流れ込む栄養分（リン）の量が少なくなり、ノリの養殖に必要なリンが足りなくなるため、養殖場に近い下水処理場（西部水処理センター）で、リンを多く放流する試みを行っています。





# ふれあう

～みんなが身近にふれあう博多湾～  
はかたわん

## 主な取り組み

### かいがんいき せいそう 海岸域の清掃

海岸・河川などで地域の人たち・会社・市や町が協力して行う清掃イベント「ラブアース・クリーンアップ」や、海洋プラスチックごみ問題を正しく知ってもらう活動を行っています。

また、福岡市内の砂浜や海辺などで、浜にたまったごみや海そうを回収し、美しい博多湾を  
すなはま  
保たもっています。



ラブアース・クリーンアップ



砂浜や海辺の清掃

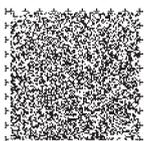
### 博多湾にふれあえる場所の整備

シーサイドももち海浜公園などで、たまった砂をならして美しい海岸に戻すなど、砂浜や海辺をきれいに保っています。

また、アイランドシティはばたき公園やアイランドシティ外周緑地など、みんながいこい博多湾にふれあえる場所を整備していきます。



アイランドシティはばたき公園  
に飛んでくる野鳥





# つなぐ

ゆたかなめぐ  
～豊かな恵み・ふれあいを未来につなぐ博多湾～

主な SDGs のゴール (くわしくは最後のページへ)



## 主な取組み

### 森里川海のつながりを学ぶ

森から流れる栄養分や砂が、川を通り、森から里、里から海へ供給されることで、さまざまな生きものがすみ環境がつけられます。

森里川海それぞれの役割やつながりの大切さを学ぶことで、いろいろな生きものや、博多湾の環境を守る行動につながっていきます。



かんばつ 間伐\*体験

\*【解説】

間伐：日光がいきわたる健全な森にするために、木がこみあった森から、生育が悪い木を切って、木と木の間をあけること。



漁船での博多湾クルージング



### 松林を守る活動

海から砂浜、砂浜から松林などの海岸林のように、海から陸へ環境が少しずつ変化しながらつながっている場所 (エコトーン) には、さまざまな生きものがすんでいます。また、松林には風や砂を防ぐ大事な役割があり、地域の人たちと協力して守っていきます。



松林を守る活動

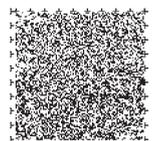
### 環境に関する情報発信

「まもるーお福岡」では、水や生きものなどに関する展示やカブトガニ観察会などの体験学習を行っています。

豊かな博多湾の魅力を知ってもらい、博多湾の環境を守る行動につながっていきます。



カブトガニ観察会



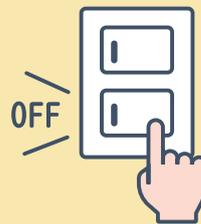
よご  
汚れた水をでき  
るだけ流さない



す  
ごみのポイ捨て  
をしない



エネルギーを  
大切につかう



おんだんか  
地球温暖化は、  
海の生きものにも  
えいきょう  
影響があります

博多湾に遊びに  
行く・ふれあう



しゅん  
博多湾産の旬の  
魚を食べる



生きもの観察会  
に参加する



小さな生きもの  
は海に戻す



※3cm以下のアサリは  
とらないようにしましょう

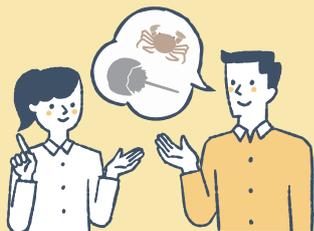
まちをきれいに  
する



緑を植える



博多湾を知る・  
学ぶ・伝える

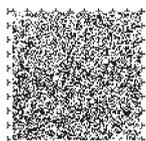


## SDGs (エス・ディー・ジーズ) って知ってる?

SDGsとは、2015(平成27)年9月の国連サミットで採択された、すべての人々にとってよりよく、より持続可能な未来を築くための17の目標のことです。

「地球上の誰一人として取り残さない」ことをスローガンに、2030(令和12)年までに貧困や不平等、気候変動、環境破壊、平和と公正など、わたしたちが直面するグローバルな課題の解決をめざします。

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



博多湾環境保全計画  
(第三次)の本編は  
こちら ▶▶▶



## 博多湾環境保全計画 (第三次) の概要

発行元  
福岡市環境局 環境監理部 環境調整課  
〒810-8620 福岡市中央区天神1丁目8番1号  
電話番号: 092-733-5389  
FAX番号: 092-733-5592